

令和 8 年度シリーズ「人間環境学」について

1. 学期・時限：前期・水曜日 4 時限目（14:50～16:20）

2. 教室：イーストゾーン 大講義室Ⅱ

3. テーマ：「公・私」と人間環境学

「公・私」は人間の活動とその環境を考える基本的な概念である。しかし、「公」と「私」は対概念でありながら、その境界はどこにあるのか？もしくは境界はあるのか？近現代社会においては、公的権力による私的領域への介入が顕在化し、一見私的な問題は実は社会構造と関連する。一方で、公的領域が私有化され、市民が私的領域に閉じ込む傾向も見られる。また、インターネットの発達とソーシャルメディアの普及により、公と私の区別は曖昧化される。どこまでが私的領域か？どこまでが公的領域か？何が私的問題か？何が公的問題か？「公」と「私」は人間環境においてどう区別、または関係する（すべき）か？基本的な概念であるからこそ社会、教育、空間、心理などのあらゆる側面から再認識、再検討する価値がある。

令和 8 年度のシリーズ「人間環境学」では、「公・私」をテーマとし、人間環境学を構成する多様な分野の教員がその専門分野の視点から公・私について論じる。本授業を通じ、人間環境学に関わる多様な視点やアプローチを学び、異分野との相互理解や協働基盤を築くとともに、自発的かつ批判的な思考力を養うことを期待する。

4. 授業日程

回	月/日	専攻等	担当教員	テーマ
1	4/8	教育システム専攻	陳 思聡	全体説明
2	4/15	都市共生デザイン専攻	箕浦 永子	「公」と「私」のまちづくり史
3	4/22	都市共生デザイン専攻	神野 達夫	災害対応における「公」と「私」
4	4/30	人間共生システム専攻	古賀 聡	心の支援と公・私：内的適応と外的適応を支えることの葛藤
5	5/13	人間共生システム専攻	高橋 沙奈美	宗教の公共性について考える
6	5/20	行動システム専攻	田中 観自	自分と他者
7	5/27	行動システム専攻	小木曾 航平	公私を横断する「身体」と交錯する「まなざし」
8	6/3	教育システム専攻	田上 哲	公教育と私教育を問い直す
9	6/10	教育システム専攻	木村 拓也	入試の公正感知覚とメリトクラシー
10	6/17	空間システム専攻	堀 賀貴	建築における「公」と「私」VS「ハレ」と「ケ」
11	6/24	空間システム専攻	住吉 大輔	脱炭素化の公共性と私の制限
12	7/1	空間システム専攻	山口 謙太郎	公共の福祉に反しない建築の構造を考える
13	7/8	実践臨床心理学専攻	佐々木 玲仁	関係とコミュニケーションの公・私
14	7/15	教育システム専攻	陳 思聡	全体のまとめ
15	7/29	人間環境学府		人間環境コロキウム

➤ お知らせ

- (1) 授業形式は「対面」と予定しています。（オンラインに変更の場合は事前に通知します）
- (2) 受講生の出欠について、それぞれご担当の先生方で確認と記録をお願いします。
- (3) 成績評価は、各授業への取り組み状況(Moodle 上での授業後の感想、質問などをもとに評価)、課題に対するレポート、授業内の発表・議論への参加度や出欠状況等によって総合的に評価する。
- (4) 本授業の詳細についてはMoodle のコース「2026 年度前期・水 4・人間環境学（陳思聡）」を参照すること。
- (5) 本授業の最終回に「人間環境学コロキウム」を実施する。「人間環境学コロキウム」は、学生が主体となって企画・運営する学術セミナーである。学内外から講師を招いて、人間環境学に関わる多様な話題について議論し、各学生の専門分野を超えた学術交流を図り、「人間環境学」の視点に立った研究の進展と、それを支える人材の育成を目差している。詳細は、人間環境学府のウェブサイトを参照すること：<https://www.hues.kyushu-u.ac.jp/colloquium/> 近年はシリーズ「人間環境学」の発展形として「人間環境学コロキウム」を捉え、翌年度の「人間環境学コロキウム」を企画・運営する実行委員会の学生委員を募っている。